

TOEIC® Program 単位認定における活用状況

－大学・短期大学・高等専門学校－

【はじめに】

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会は、株式会社 大学通信に委託し、2021年10月・11月・12月に全国の大学・短期大学・高等専門学校における TOEIC® Program の活用状況について調査を実施しました。

本調査は、大学・短期大学・高等専門学校に対し、「2021年度単位認定における TOEIC® Program 活用状況」について調査用紙を送付し、ご回答いただいたものです。

本資料は、ご回答いただいた内容をもとに、当協会にて概要をまとめたものですが、単位認定の詳細な要件につきましては、必ず各学校で出されている案内などをご確認くださいませよう願いたします。

また今回、一部大学院の「2022年度入学試験における TOEIC® Tests 活用状況」について調査を実施しました。詳しくは 35ページをご参照ください。

【調査結果の概要】

	大 学	短期大学	高等専門学校	計
調査実施校数	776	302	57	1,135
単位認定活用校数	334	56	44	434

※上記活用校数の中には非公開を希望した学校も含まれているため、4ページ以降の活用一覧掲載校数とは一致しない

目次

単位認定活用一覧	(1) 国公立大学……………	4
	(2) 私立大学……………	11
	(3) 短期大学……………	29
	(4) 高等専門学校……………	31

特別資料 TOEIC® Tests 入学試験における活用状況 -大学院-

入学試験活用一覧	(1) 国公立大学院……………	37
	(2) 私立大学院……………	52

【活用一覧の見方】

国公立・私立別の大学、ならびに短期大学・高等専門学校を原則として都道府県別に五十音順で掲載

単位認定活用一覧

都道府県	学校	学部	学科	活用テスト名	基準スコア	単位数	公開テスト	IPテスト	備考
茨城	茨城大学	全学部	全学科	L&R	550	2 単位	○	○	

→ 茨城大学では全学部・全学科において、TOEIC® Listening & Reading スコア 550 点以上取得者に 2 単位を認定しており、公開テスト・IP テストのいずれのスコアも受理している。

★次ページ以降の「活用一覧」は各学校にご回答いただいた内容をまとめたものです。表記については、以下の通り記載しています。「備考」欄は選択肢よりお選びいただいた項目を掲載しています。

★選択項目以外のご回答をいただいた一部の学校に関しては、ご提供いただいた内容をできるだけ忠実に記載しています。しかし、紙面の都合上、文意が変わらない範囲で内容を編集している場合もあります。

また、調査項目の内、特に基準を設けていない場合や非公開の場合、未回答の内容に関しては、「－」で表現しています。

<活用テスト名>

- ・TOEIC® Listening & Reading Test : L&R ・TOEIC® Speaking & Writing Tests : S&W
- ・TOEIC Bridge® Test : Bridge
- ・TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests : BLR ・TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests : BSW

<テストスコア>

- ・TOEIC Listening & Reading Test : 10 ~ 990 点の 5 点刻み
- ・TOEIC Speaking & Writing Tests : Speaking、Writing 各スコア 0 ~ 200 点の 10 点刻み
- ・TOEIC Bridge Test * : 20 ~ 180 点の 2 点刻み
- ※ 2019 年 6 月の公開テストより、TOEIC Bridge Listening & Reading Tests にアップデートされました。
- ・TOEIC Bridge Listening & Reading Tests : 30 ~ 100 点の 1 点刻み
- ・TOEIC Bridge Speaking & Writing Tests : 30 ~ 100 点の 1 点刻み

<「備考」の選択肢>

(大学・短期大学)

- IP テストは学内での実施に限る ■ 入学年度により適用が異なる ■ スコアにより認定科目が異なる ■ スコアにより評価が異なる
- その他要件がある

(高等専門学校)

- スコアにより認定科目が異なる ■ スコアにより評価が異なる ■ JABEE 認定教育プログラムの修了要件としている
- その他要件がある

★テストスコアに関して、各学校のご回答内容を忠実に再現した結果、「活用一覧」中に実際には存在しないスコアが記載されています。たとえば「601 点」と表記されている場合、「601 点より高い TOEIC Listening & Reading スコア（実在するスコアは 605 点）から単位認定の要件などとする」という意味です。

★学校名のみ公表にご協力いただいた学校（活用の詳細は非公開）は、学校名のみ掲載し、以降の欄はすべて「－」で表現しています。

★ TOEIC Program には公開テストと団体特別受験制度（IP : Institutional Program、以下 IP テスト）の 2 つの受験方法があります。公開テストは当協会の定めた日程・場所においてご受験いただくもので、IP テストは学校・企業・団体などで任意に日時・場所を指定しご実施いただくものです。

IP テストの結果の有効性は通常、公開テストと同等と判断されますが、IP テストでは公開テストで発行される Official Score Certificate（公式認定証）は発行されず、スコアレポートでの結果報告となります。